

# カンボジアスタディーツアー 報告会

東京学芸大学D類養護教育専攻 D20-4010 道下碧泉

# 目次

- 目次
- このスタディツアーで感じたこと
- 学生交流の中で学んだこと
- スタディツアーの経験を活かして

このスタディツアーで感じたこと  
先進国と発展途上国の関係性について

# このスタディツアーで感じたこと

- 日本はカンボジアに多くの支援をしている  
→日本は先進国
- カンボジアには様々な国のお店があった

支援により成り立っている  
発展している

# このスタディツアーで感じたこと

## その一方で…

- 観光客がタバコやゴミをポイ捨てしている
- 観光地では多くの子どもが観光客を相手に働いていた

観光客→先進国

- 観光客がいるから仕事が生まれる反面、  
環境の悪化、子どもの教育の権利を奪ってしまっている

学生交流の中で学んだこと

先進国や発展途上国などの枠組みにとらわれず  
お互いを尊重すること

# 学生交流の中で学んだこと

- カンボジアの学生は英語で会話ができていた
  - 日本の学生は英語で話すことに苦手意識がある人も多かった
- ↓
- 自分は支援をしている先進国の人なのに、英語を使えていない
  - カンボジアの学生はそんな日本人にがっかりしているのでは？
- ↓
- カンボジアの学生は私たちが受け入れてくれていた
  - 今もInstagramで関係が続いている

# 学生交流の中で学んだこと

- 自分は、多くのことを支援している国の人だから  
なんでもできないといけないと上から考えていたのではないか
- でも、自分が何かをしたわけではない  
→ 対等な関係であるべき  
お互いを尊重し合う必要

# スタディツア－の経験を活かして

- 自分は今まで周りの人に助けられて生きてきただけで、何もしていないし、成し遂げてもない



**誰と関係を築く時でも相手を尊重する姿勢を大切にしたい**

そのような姿勢により、信頼関係が築きやすくなるのではないか

- この経験や気持ちを忘れないようにして過ごしていきたい

ご清聴ありがとうございました